

= 広瀬小学校と広瀬公民館の授業取り組みレポート =

学社融合授業「広瀬のはたらく人を調べよう」

11月17日(金)と29日(水)の2回にわたり、広瀬公民館の事業運営委員や活動団体がゲストティーチャーをつとめ、広瀬小学校3年生児童対象の授業に協力しました。

この2回の授業は、広瀬小学校(=学校教育)と広瀬公民館(=社会教育)が協力しあって、学社融合という形態で行う取り組みです。小学3年生の総合的な学習の時間のひとコマ「広瀬のはたらく人を調べよう」の中で、公民館の役割や公民館を利用する人たちがどのような活動を行い地域に貢献しているのかを、体験や交流を通じて学ぼうというものです。

第1回授業は公民館での授業です。事業運営委員の飯島邦男さん(水墨画)、内澤恵治さん(マジック・けん玉・そば打ち・料理)、北村京子さん(地域子ども教室の運営・子育て支援)、名雲照子さん(押し花絵)の4名がそれぞれ自分のブース(お店)を設け、児童は4グループに分かれて順番にブースを訪問。各委員の実演を見学し、その後に児童が実習体験したり質問したりしながら交流しました。それぞれの委員の地域貢献に対する思いや考え、人柄に触れることもできました。



第2回授業は小学校体育館での授業です。青空の会さん(ダンス)、ケナリさん(韓国語学習)、踏青俳句会さん(俳句)、マジック・トロさん(マジック)の4団体のみなさんがゲストティーチャーで、クラスが4つのグループに分かれてそれぞれの活動体験を行い、最後に成果発表会を開催しました。児童は楽しく真剣に取り組み、45分の授業時間の中で【あいさつ→学習内容の理解→練習→成果発表→感想発表】までやり切ることで、子どもたちも協力団体の皆さんも、達成感や充実感を得ることができました。



公民館の立場で考えると、第1回、第2回ともに公民館で活動する地域の人々が、非常に豊かな人間力や指導力を発揮し、学習成果を地域に還元することができた取り組みで、大きな意義があったといえます。また、2回目の児童の活動体験では、子どもたちの能力の高さに、協力団体さん全員が驚きと感動を覚えました。成果発表会では、自分の孫を見守るように応援し、笑顔で大きな拍手をおくる姿が、とてもほほえましく印象的でした。

そして何よりも、この取り組みに協力いただいた皆さんが子どもたちと交流することにより、笑顔と元気をもらい、豊かな時間を共有できたことは、とても大きな喜びです。4名の事業運営委員と4団体の皆さん、誠にありがとうございました。

※この学社融合取り組みは、今年で3回目になります。公民館における活動や学習成果の地域への還元、教育機関との融合・連携は、公民館(=社会教育施設)が果たすべき重要な役割でありテーマです。広瀬公民館では、今後も事業運営委員の皆さんや活動団体さんのご理解とご協力に支えていただきながら、この実りある取り組みを継続発展させて行きたいと考えています。